

説明資料

第85期 2020年3月期決算

2020年5月14日



三和ホールディングス株式会社
www.sanwa-hldgs.co.jp

このたびの新型コロナウイルス感染症により
亡くなられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、
罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

■ はじめに		◆ 参考資料	
1. 第三次中期経営計画の進捗と最近の業績推移	・・・5	1. セクター別連結業績の概要	・・・26
■ 2019年度 通期（実績）		2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向	・・・27
2. 通期決算ハイライト	・・・7	3. 日本：製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)	・・・28
3. 売上・営業利益実績（セクター別）	・・・8	4. 米州：製品別売上高(ODC)	・・・29
■ 第三次中計重点戦略の進捗		5. 欧州：製品別売上高(NF)	・・・30
4. 基本戦略①～⑤	・・・10	6. 外部環境	・・・31
■ 2020年度 通期（予想）		7. 主要経営指標	・・・32
5. 新型コロナ感染の影響について	・・・18	8. SVAツリー	・・・33
6. 通期予想ハイライト	・・・20	9. 設備投資額と減価償却費	・・・34
7. 売上・営業利益予想（セクター別）	・・・21	10. トピックス	・・・35
8. 財務ハイライト	・・・23		

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

はじめに

2019年度 通期（実績）

第三次中計重点戦略の進捗

2020年度 通期（予想）

1. 第三次中期経営計画の進捗と最近の業績推移

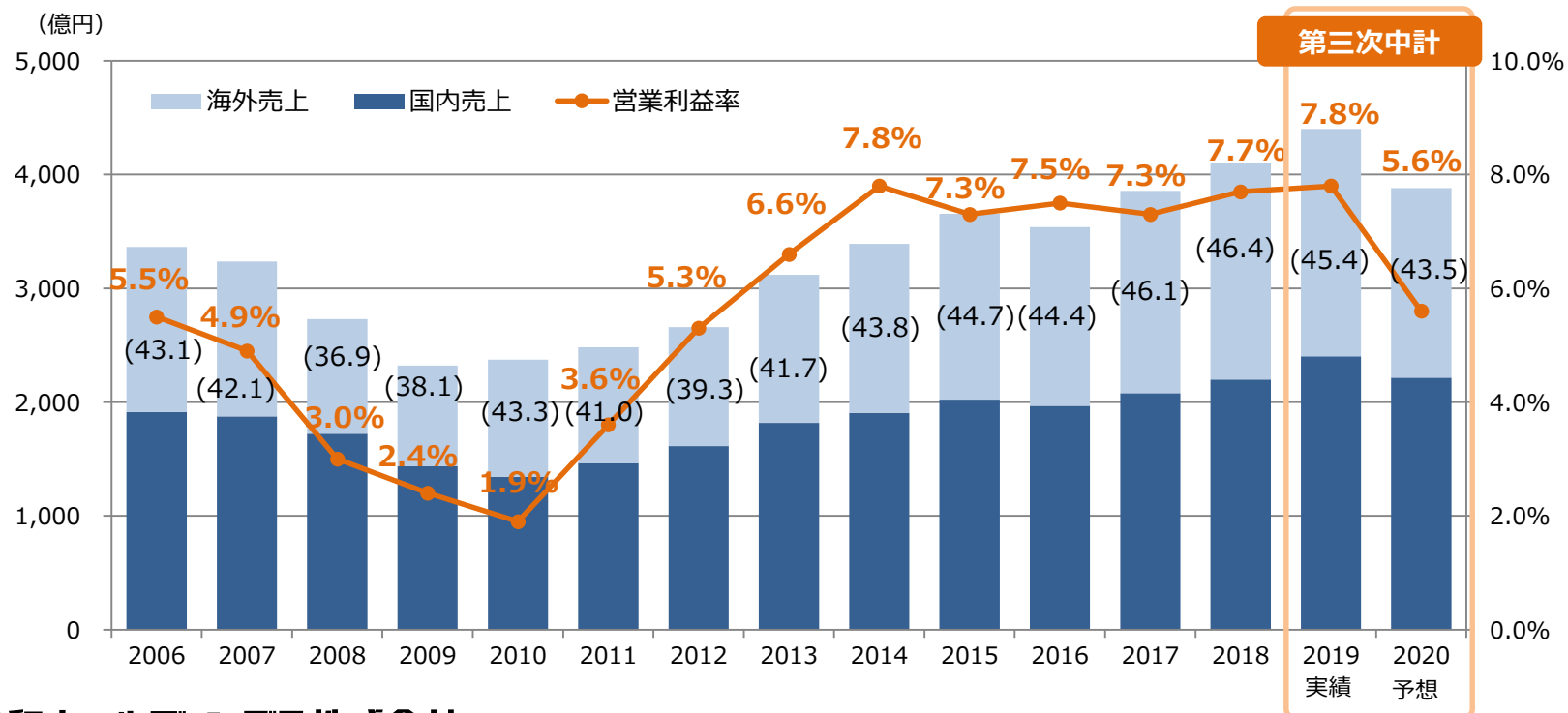


第三次中期経営計画(2019~2020年度)の進捗

- ・2019年度は、国内事業が牽引し予想を達成
- ・2020年度は、新型コロナウイルス影響が大きく
中計目標達成は困難な状況

	2019年度実績	2020年度予想	中計目標
売上高	4,402億円	3,900億円	4,500億円
営業利益	342億円	220億円	375億円
営業利益率	7.8%	5.6%	8.3%
SVA	140億円	(注1) 54億円	(注1) 159億円
ROE	13.3%	(注2) 7.5%	(注2) 14.1%

(注1) 加重平均資本コスト(WACC)は6%、税率33%で計算
(注2) 株主資本コストは8%を目処



()は海外売上高比率を示す

為替レート	2019	2020 (予想)
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	115.00

はじめに

2019年度 通期（実績）

第三次中計重点戦略の進捗

2020年度 通期（予想）

2. 2019年度 決算ハイライト



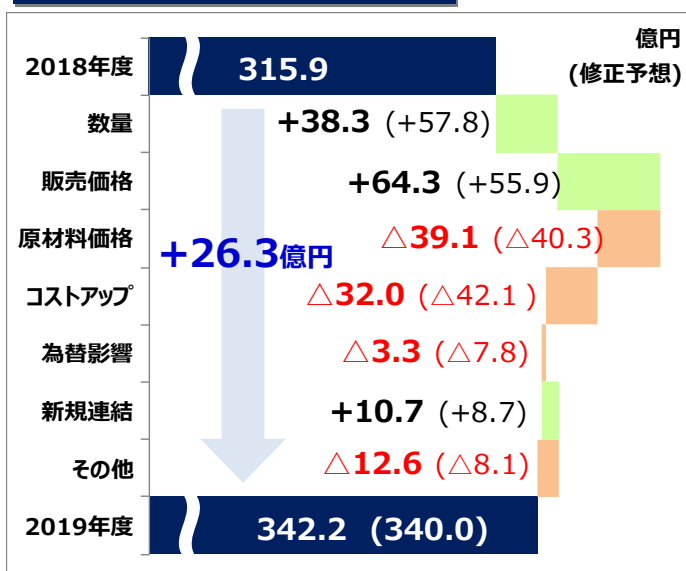
(億円、%)

《通期連結実績》	通期実績	予想	予想比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	4,402 [4,462]	4,250	+152 (+212)	4,100	+302 [+362]	+7.4 [+8.8]
営業利益	342.2 [345.5]	340.0	+2.2 (+5.5)	315.9	+26.3 [+29.6]	+8.3 [+9.4]
経常利益	334.7 [337.9]	330.0	+4.7 (+7.9)	304.4	+30.3 [+33.5]	+10.0 [+11.0]
親会社株主に帰属 する当期純利益	216.5 [218.6]	220.0	▲3.5 (▲1.4)	209.1	+7.4 [+9.5]	+3.5 [+4.5]

為替レート	2018	2019
1ドル	110.36	109.24
1ユーロ	130.01	122.15

【 】内は、18年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

営業利益増減分析(連結)



要約	売上、営業利益、経常利益は通期予想を達成、当期純利益は未達すべての項目で過去最高を更新
売上高	・連結では、前年・予想を上回り、過去最高を達成 三和シャッター、国内子会社、NFは前年・予想を上回った。ODCは前年は上回ったものの、予想には達しなかった。アジアも予想比未達
営業利益	・連結では、前年・予想を上回り、過去最高を達成 数量は予想比未達、価格効果が利益を押し上げた 原材料価格およびコストアップはほぼ予想通り
経常利益	・連結では、前年・予想を上回り、過去最高を達成
親会社株主に帰属 する当期純利益	・連結では、前年を上回り過去最高を達成したが、国内子会社の 特損計上により予想に届かず

3. 2019年度 売上・営業利益実績 (セクター別)



【売上高】

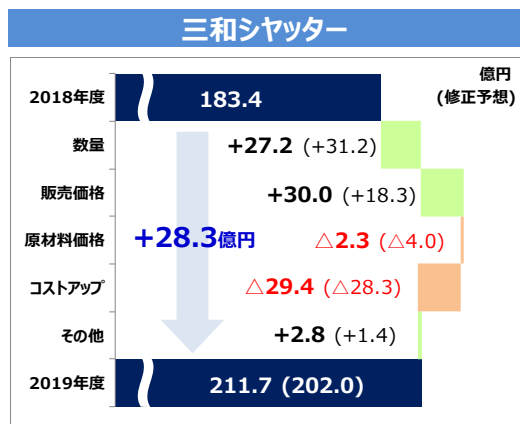
【営業利益】

(億円、百万\$、百万€、%)

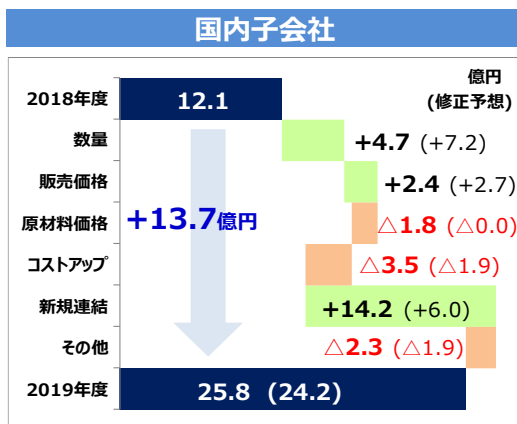
	【売上高】			【営業利益】				
	18年度	19年度	前年比(率)	18年度	利益率	19年度	利益率	前年比(率)
三和シャッター	1,986	2,104	+6.0	183.4	9.2	211.7	10.1	+15.4
国内子会社	354	512	+44.6	12.1	3.4	25.8	5.0	+112.8
ODC (米国)	1,057 1,166	1,085 1,185	+2.6 +1.6	79.6 87.8	7.5	82.7 90.3	7.6	+3.9 +2.9
NF (欧州)	565 735	613 749	+8.5 +2.0	29.5 38.3	5.2	30.2 36.9	4.9	+2.5 ▲3.7
アジア	-	64	-	-	-	▲3.5	▲5.4	-
連結	4,100	4,402	+7.4	315.9	7.7	342.2	7.8	+8.3

為替レート	2018	2019
1ドル	110.36	109.24
1ユーロ	130.01	122.15

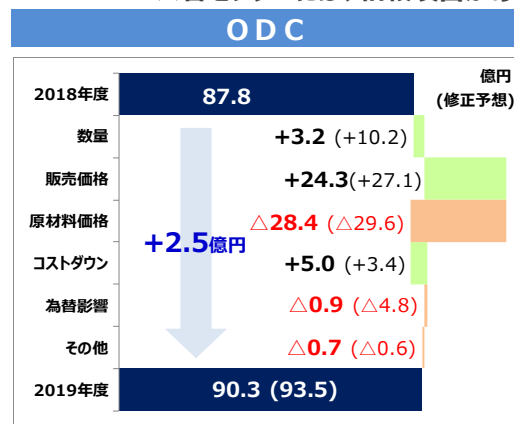
※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません



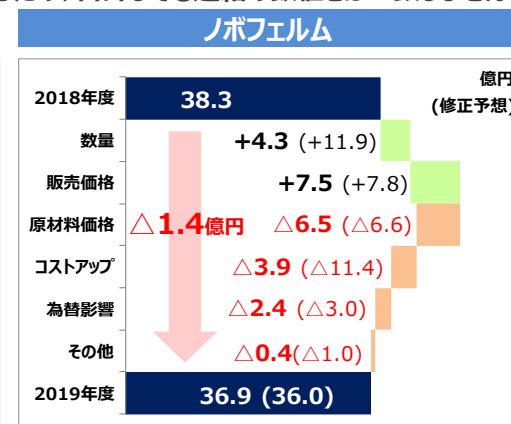
✓数量、販売価格ともに増加し、大幅増益



✓数量の伸びは予想を下回ったが、新規連結効果により、大幅増益



✓上期の低迷が響き、数量が伸びなかったが材料価格上昇分は概ね売価に転嫁できた



✓数量の伸びは予想を下回ったが販売価格は概ね想定通り推移
外貨ベースでは前年、予想ともにクリア

はじめに

2019年度 通期（実績）

第三次中計重点戦略の進捗

2020年度 通期（予想）

4. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（日本）

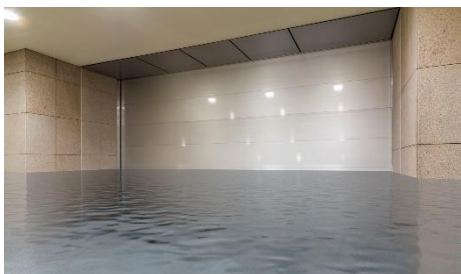


各事業分野でのポジション確立による、動く建材企業としての成長



コア事業：シャッター、ドアの収益性確保

- ・ 売価アップ：取付工事、物流コストなどの販売価格転嫁を実施
- ・ シェアの維持拡大：シャッター、ドアのコア商品は高いシェアを維持
- ・ 19年度は過去最大量：生産性向上、社内連携などにより大きな混乱なく遂行



多品種化事業：間仕切、エントランス、防水など グループ連携による拡大

- ・ 学校間仕切：国内グループ連携による折込戦略の推進により伸長
- ・ 耐火パネル：高度な耐火機能と省施工を実現した「マジカルタイカプラス」を投入
- ・ 防水商品：JIS化に対応した高機能な商品ラインアップにより大きく伸長



サービス事業：点検法制化の受注拡大と災害復旧対応

- ・ 法定検査関連：点検数拡大に加えて、検査後修理見積の積上げに注力
- ・ 災害復旧対応：気候変動により大型台風上陸が頻発。災害復旧に全社をあげて対応し、社会インフラ維持に貢献



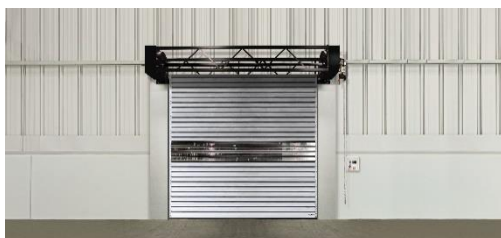
供給力強化：繁忙期での生産、物流、施工力確保

- ・ 生産能力：SD生産能力の大幅な向上を実現し、大型物件対応に効果
- ・ 物流能力：納期情報精度向上のための納期管理システム導入は完了
- ・ 省施工：部材セット梱包や重量シャッターの一体化工法による省施工推進

4. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（米国）



ODC：コア事業の維持・拡大と共に、周辺事業分野への参入



ドア事業

住宅用Retrofit(改築向け)の強化：市場低迷により目標に未達

- ・ 大都市圏などのチャネル拡大施策を継続
- ・ エンドユーザープロモーション実施

商業(非住宅)用ドアの拡大：下記施策により前年並み売上確保

- ・ 戦略的価格によるシェアアップ
- ・ 新規代理店、販売店を追加およびサービス事業強化



開閉機事業

Wi-Fi接続商品など新商品開発拡充

- ・ ビルダー向けWi-Fi接続商品の開発やスマートホームの実現
- ・ ホームセンター向けの新商品拡充

リテール戦略

- ・ ホームセンター向けに特設展示プロモーション開催
- ・ 新規取引店の開拓を推進

メキシコへ開閉機製造の移行

- ・ Matamoros工場を拡張し、開閉機生産の集約化
⇒2019年に移管事業は終了



4. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（欧州）



N F：産業用製品のさらなる強化と、NF4.0によるデジタル化推進



産業用製品事業

- ・ アルファ社(オランダ)工場拡張により生産性が改善し、旺盛な需要へ対応が実現
- ・ 大型物件の順調な獲得など、フランスにおけるシェアアップを達成
- ・ ドックレバラー生産能力増強策は順調に推移



ヒンジドア事業

- ・ Robust社買収により、スウェーデンおよび英国での拡販を実現
- ・ フランスなどでの欧州統一耐火基準製品の拡充
- ・ 2019年はイタリア、ドイツ、スペインでの売上が伸長



ガレージドア事業

- ・ フランスにおける競争激化が継続する中、DIYビジネスの拡大により前年比成長
- ・ イギリスでの販売部門強化及び新支店開設など実施



NF4.0によるデジタル化の推進

- ・ 販売：ドイツ以外へも展開を開始
- ・ 製造、物流関連：デジタル化ツール活用による業務効率改善

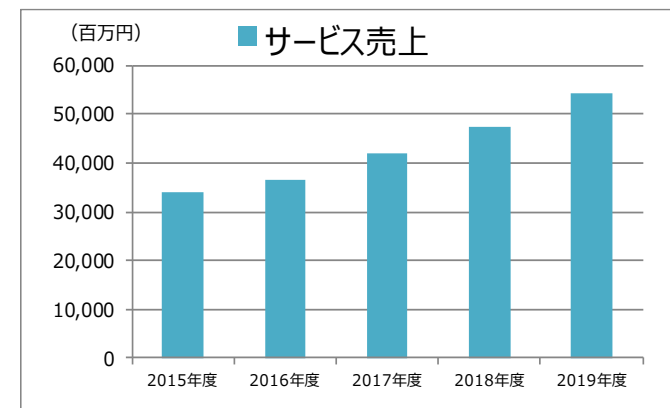
4. 基本戦略②：サービス分野の強化とビジネスモデルの拡大



サービス事業

各地域において、顧客ニーズに合わせたサービス事業を提供
新たな顧客開拓やビジネスモデルを拡大

	2018年度	2019年度
サービス売上 (連結)	476億円	542億円



国内事業	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な災害復旧対応 トレーサビリティ対応 顧客の増大と法定検査受注拡大 インフラ整備と要員展開 鈴木シャッターを梃子にした拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 全国ネットワークの強みを活かした復旧活動 過去実施検査物件の契約更新および新規開拓による獲得シェアの維持 新物件の増大によるカバー率の向上 Eコネクト、バッテリー交換、経年劣化対策案を併せた提案営業の強化 物件追求管理のシステム化による業務効率化
ODC	<ul style="list-style-type: none"> 直販部門の事業強化 フィールドサービスシステム導入 	<ul style="list-style-type: none"> 直販部門をドア部門傘下として再建 定期点検等サービス受注拡大と施工能力底上げ フィールドサービスシステム導入による生産性向上と拡販
NF	<ul style="list-style-type: none"> 産業用ドア事業を中心に事業拡大 フィールドサービスシステム導入 	<ul style="list-style-type: none"> BGSとホートンUKのサービス事業の統合 フィールドサービスシステム導入は英国で導入済、大陸側は順次導入予定

4. 基本戦略③：アジア事業の基盤拡充

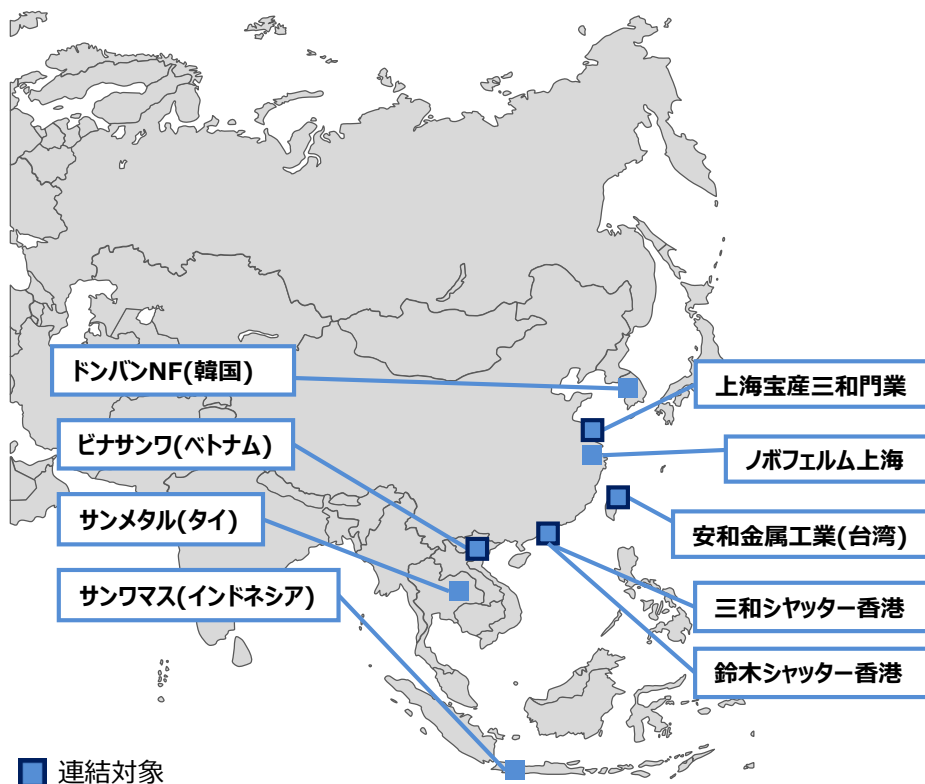


アジア

グループ各社の一体運営強化および連結対象事業の拡大

2019年度から4社（宝産三和、安和金属、三和香港、ビナサンワ）を連結化

2020年度から鈴木シャッター香港を連結化



(億円)

	売上		営業利益	
	19実績	20予想	19実績	20予想
連結計	64	74	△3.5	0.6

■ 業績進捗

19年度より4社連結対象として取り組んだが、事業基盤の確立に至らず。20年度は更なる地域密着型で回復を図る。

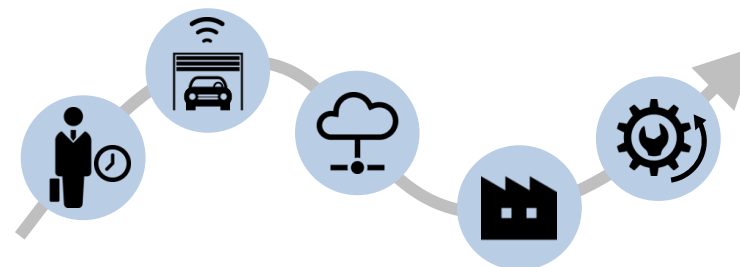
各社の状況

- 中国：華東地区
 - ・宝産三和は、現地競合との価格競争に勝つための低コスト商品を開発
 - ・NF上海再構築は、計画通り進捗し、新耐火ドア、代理店網構築など順調に進展
 - ・ドックレベラー内作体制確立
- 中国：華南地区
 - ・三和香港と鈴木香港（マカオ）の統合シナジー追求
- 台湾：安和金属は、既存工場拡張も含めた製造拠点最適化の検討
- ベトナム：ビナサンワは営業および施工体制を再構築
- インドネシア：サンワマスの新規設備導入および代理店ネットワークの構築
- 韓国：ドンバンNFは新工場に移転し稼働

4. 基本戦略④：働き方改革と生産性向上



営業・設計・製造・施工・メンテ・管理の全てのプロセスで、
AI、IoTなど最新の情報システムの活用による業務効率化、
働き方改革などにより生産性を改善



日本

- 国内グループ会社の事業最適化（システム連携など）
…CADシステム、基幹システムの連携推進
…工場繁忙期の生産分散化
- 製造・施工など部門横断的な省力化に向けた商品開発
…スムーズセット搬入、SD火無し工法など
- 製造体制強化による生産性改善
…工場供給力強化と品質向上
…SD生産能力増大による供給体制の確保
- 事業環境整備による生産性の改善
…テレビ会議システムを刷新し、タイムリーな情報共有、移動時間、
交通費などの効率化を推進
- 働き方改革による長時間労働是正、業務効率化推進
…モバイルPCの導入による業務効率化
…テレワークの推奨



ODC

- ERP導入による業務革新の実現
- フィールドサービスシステム導入による生産性向上
- ASD（ドア部門）：生産自動化促進による生産能力・品質改善
- 自動ドア：生産性・品質改善

NF

- NF4.0（デジタル化）による業務プロセス改革
- 英国事業の集約（BGS、NFUK）Robust社とのシナジー構築
- ドックレバラーの生産供給体制の最適化
- 継続的な産業用ドア工場の生産能力強化

アジア

- 三和上海（管理会社）による上海2社（宝産三和・NF上海）の
管理業務集約
- 各エリアごとの生産供給体制の再構築

4. 基本戦略⑤ ESGを推進し、社会からより信頼される企業体質へ



2030年に向けてさらに信頼される企業へ

みらい

サステナブルな未来と社会の発展への貢献



- ・気候変動への対応
- ・地域貢献／社会貢献

気候変動に対応する商品の拡充

- 気候変動に伴い増加する集中豪雨などの浸水被害から都市の機能や暮らしを守るための防水商品のラインアップ拡充
- 省エネに寄与する商品、自然エネルギーを活用した商品などで持続可能な社会の実現に貢献

ひと

すべてのひとが安心して働ける職場づくり



- ・人権の尊重
- ・ワークライフバランス／ダイバーシティ
- ・人材育成／安全と健康

新たな価値と競争力を育てる施策

- 三和グループを長期的に支え牽引する人材育成プランの実行
- 多様性を尊重し、受容できる組織風土づくり
- 労災撲滅への取り組み、施工の省力化など新しい価値と競争力を創造

ものづくり

まちや暮らしを支える商品・サービスの提供



- ・安全・安心・快適を提供する商品の提供
- ・品質管理の強化
- ・顧客満足度の向上

多様な商品群で大切な「日常」を守る

- 災害から身を守るための「防火・防煙・耐震・防水商品」
- 犯罪から命や財産を守るシャッターやガレージドアなどの「防犯商品」
- 工場や物流センターの作業効率を高め、社会インフラを支えるオーバースライダーなど人々の大切な暮らしを守り、豊かで暮らしやすい社会をつくる商品とサービスをグローバルで提供

業績の信用

経営基盤の信用

上記重要課題の取組みを適時開示し、ESG主要インデックスへの採用を目指す

はじめに

2019年度 通期（実績）

第三次中計重点戦略の進捗

2020年度 通期（予想）

5. 新型コロナウイルス感染の影響について



2020年度の考え方、現状について

①前提

- ・新型コロナウイルスの世界的な大流行は2020年6月頃には沈静化に向かい、封じ込め措置が段階的に解除されていくが、少なくとも2020年内は影響が残る

※上記前提は状況により変更となる可能性があります。

- #### ②今期業績目標
- 上記前提に基づいて見通しを可能な限り算定し公表
(20~22ページ参照)

- #### ③配当予想
- 前年維持 (年間34円)

- #### ④資金繰りについて
- 純資産比率47%の強固な財務基盤と、十分な手元流動性を確保

- ・手元流動性：約900億円 (2020年3月末現在)

(内訳) 現金および現金同等物約500億円、CP発行枠200億円、コミットメントライン他200億円

⇒ 1カ月の売上約360億円、販管費約80億円から見て十分な水準

- ・発行体格付け R&I: A、JCR: A+

- #### ⑤サプライチェーン
- 各地域の主要原料、部材調達についての大きな影響はない

- #### ⑥投資について
- 不急なコストは抑制しつつ、成長のために必要な投資は実行

5. 新型コロナウイルス感染の影響について



地域別の状況について（5月14日現在）

緊急事態宣言の発令（日本）に伴い、当社においても危機管理対策本部を設置し、従業員・施工技術者・協力企業などの安全と健康を最優先した対応を実施

地域	外部環境等	当社の生産、販売、施工等の状況
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・5月末まで緊急事態宣言中 ・建設現場の進行遅れおよび受注の決着遅れなどが発生する可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売、管理部門等は、可能な限り時差出勤やテレワークにて対応し、感染拡大防止に注力 ・各工場は、現状大きな影響は受けず稼働を維持 ・施工は、一部現場中断などの影響を受けながら、取付工事および修理・点検を実施
米州	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の建設現場は、州によってはストップ ・外出禁止解除および経済活動再開は、4月末から州や地域ごとに順次実行 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国政府によりODC事業は必要不可欠な事業と認定 ・販売、管理部門等は、原則テレワークにて対応 ・全工場ともに稼働しているが、7～8割の稼働状況 ・メキシコの3工場が政府指示により4月中旬より操業停止となっていたが、5月初旬より作業人員を抑制し稼働再開
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ・4月のイタリア、フランス、スペイン、イギリスの経済活動は完全封鎖されていたが、国により、4月中旬から外出禁止措置解除や経済活動の再開を順次実行 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売・管理部門等は、原則テレワークにて対応 ・ドイツ、オランダの工場は稼働を維持 ・イタリア、フランス、スペイン、イギリスの工場は操業停止していたが、4月末より順次操業を開始
アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の春節明けの経済活動は失速 ・現在は中国、ベトナムなどは概ね正常な経済活動維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国、香港、台湾の生産・販売活動では操業停止期間は終了し、現在は通常稼働 ・ベトナムにおいては、生産・販売活動は稼働を維持

6. 2020年度 通期予想ハイライト



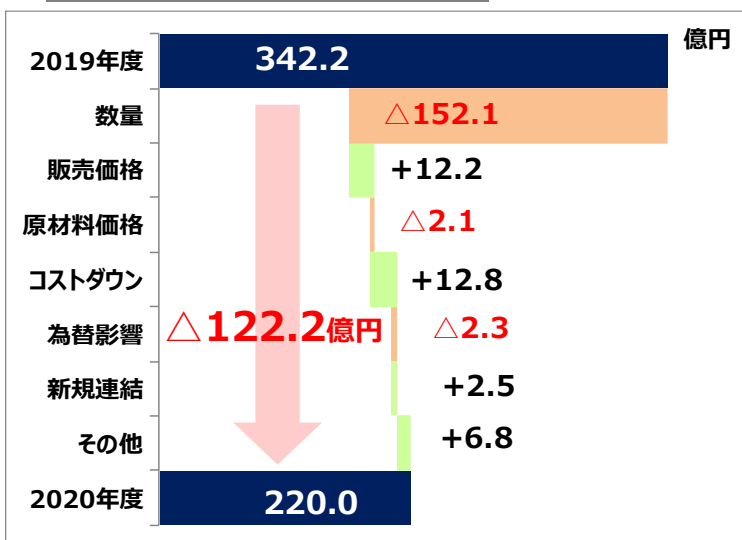
《通期連結予想》 (億円、%)

	通期予想	上期	下期	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	3,900 【3,952】	1,780	2,120	4,402	▲502 【▲450】	▲11.4 【▲10.2】
営業利益	220.0 【221.6】	51.0	169.0	342.2	▲122.2 【▲120.6】	▲35.7 【▲35.3】
経常利益	210.0 【211.2】	46.0	164.0	334.7	▲124.7 【▲123.5】	▲37.3 【▲36.9】
親会社株主に帰属 する当期純利益	125.0 【125.9】	23.0	102.0	216.5	▲91.5 【▲90.6】	▲42.3 【▲41.9】

為替レート	2019	2020予想
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	115.00

【 】内は、19年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

営業利益増減分析【連結】



要約	売上、各利益とも新型コロナウイルスの影響により大幅な減収・減益予想
売上高	<ul style="list-style-type: none"> 日・米・欧とも新型コロナウイルスの影響が大きく、連結で大幅な減収予想 前年比：上期予想▲10.6%、下期予想▲12.0%（連結）
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス影響による売上数量の大幅な減少を、販売価格上昇およびコストダウンで一部補うものの、大幅減益予想 前年比：上期予想▲53.9%、下期予想▲27.0%（連結）
経常利益	<ul style="list-style-type: none"> 営業減益に加えて持分法投資損益が若干悪化することにより大幅減益予想
親会社株主に帰属する当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> 経常減益の影響が大きく大幅減益予想

7. 2020年度 売上・営業利益予想（セクター別）



(億円、百万\$, 百万€, %)

売上高	19年度実績	20年度予想	前年比(額)	前年比(率)	コメント
三和シャッター	2,104	1,913	▲191	▲9.1	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、上期中は新規案件の決着や工事の進捗が遅れる予想 下期には受注回復の見込み
国内子会社	512	527	+15	+3.0	<ul style="list-style-type: none"> 三和シャッター同様の影響が発生するものの、鈴木シャッターの連結効果により増収を見込む
ODC(米国)	1,085 1,185	941 988	▲144 ▲197	▲13.3 ▲16.6	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響を2Qから受けはじめ、年後半にも残るため、大幅な減収予想 2Qの受注は前年比で減速し、影響は3Qまで続く見込み
NF(欧州)	613 749	553 636	▲60 ▲113	▲9.8 ▲15.1	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響を3月から受けはじめ、2Qまで影響が大きく、大幅な減収予想 3Q以降は回復を見込んでいる
アジア	64	74	+10	+14.7	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響は1Qに多少あるものの、鈴木シャッター香港の連結により、通期で増収を見込む
連結	4,402	3,900	▲502	▲11.4	

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません

為替レート	2019	2020予想
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	115.00

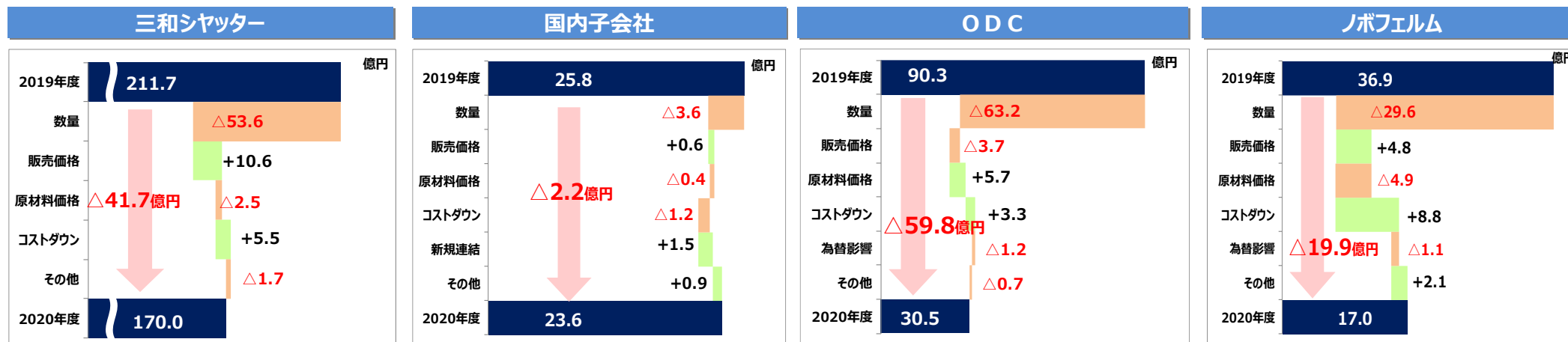
7. 2020年度 売上・営業利益予想（セクター別）



(億円、百万\$, 百万€, %)

営業利益	19年度実績	利益率	20年度予想	利益率	前年比(額)	前年比(率)	コメント
三和シャッター	211.7	10.1	170.0	8.9	▲41.7	▲19.7	・数量減影響は大きいものの、販売価格上昇およびコスト削減により、減益幅を縮小予想
国内子会社	25.8	5.0	23.6	4.5	▲2.2	▲8.7	・数量減影響を予想するが、鈴木シャッター連結効果によりわずかな減益予想
ODC(米国)	82.7 90.3	7.6	29.0 30.5	3.1	▲53.7 ▲59.8	▲64.9 ▲66.3	・数量減影響が大きいものの、工場稼働減に伴う人件費削減等で一部補う予想
NF(欧州)	30.2 36.9	4.9	14.8 17.0	2.7	▲15.4 ▲19.9	▲51.0 ▲53.9	・数量減影響は大きいものの、人件費他コストダウンにより減益幅を縮小させる予想
アジア	▲3.5	-	0.6	0.8	+4.1	(+)	・新型コロナウイルス影響はあるものの、鈴木シャッター香港連結による黒字転換を見込む
連結	342.2	7.8	220.0	5.6	▲122.2	▲35.7	

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません



為替レート	2019	2020予想
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	115.00

8. 財務ハイライト



主要指標について	19年度実績	20年度予想	
SVA（実効税率：33%）	140億円	54億円	2020年度SVAおよびROICは、営業利益の減少により縮小
ROIC（WACC：6%）	15.4%	9.5%	
ROE（株主資本コスト：8%）	13.3%	7.5%	2020年度ROEは株主資本コスト並みの予想
配当性向	35.0%	60.1%	配当を前年同額予想としたため、一時的に高くなる見込み
FCF	156億円	102億円	フリーキャッシュフローは、戦略投資に優先配分する
DEレシオ	0.38	0.36	格付および金利状況から見て、DEレシオや自己資本比率は、安全性として十分なレベルを維持する見込み
自己資本比率	46.3%	46.9%	

SVA = 税引後営業利益 - 投下資本 × WACC、ROIC = 税引後営業利益 / 投下資本 × 100

株主還元

■ 配当

- ・2019年度期末配当：2円増配の17円、年間34円
- ・2020年度配当見通し：年間34円を予想（前年同額）

※配当性向については35%を目安としている。本年度については新型コロナウイルス感染が大きく業績に影響を与えているものの、あくまで一時的なものと考えており、キャッシュフローおよび資金ポジションの水準等を考慮し前年同額を予想

■ 自社株取得

- ・2019年度：50億円実施（消却済み）
- ・2020年度：必要な戦略投資を行い、また手元資金を考慮しつつ株主還元を検討

8. 財務ハイライト



戦略投資

■第三次中期経営計画における戦略投資方針

- ・多品種化の推進やシナジー効果の見込める成長分野を中心に、設備投資およびM&Aに2年間で約300億円を配分する予想

■2019年度実績：約150億円

- ・M & A：約106億円（鈴木シャッター、Robust）
- ・戦略的設備投資：43億円（新CADシステム、新ERPシステム、メキシコ工場新ラインなど）

（百万円）

特損の状況	2019年度		2020年度 予想
	予想	実績	
固定資産処分損、売却損	23	54	0
事業再構築費用	477	204	200
子会社減損	—	536	600
関係会社整理損	—	63	0
その他	—	390	300
特別損失合計	500	1,247	1,100

・19年度国内子会社
・20年度アジア子会社

◆ 參考資料

参考資料1. セクター別連結業績の概要



(百万円、%)

	2018年度						2019年度						2020年度(予想)					
	上期		通期		上期		通期		修正予想		上期		通期		上期		通期	
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率
売上高	183,911	(6.2)	409,990	(6.3)	199,167	(8.3)	425,000	440,161	(7.4)	178,000	(△10.6)	390,000	(△11.4)					
[前年為替適用]					[200,350]	[8.9]		[446,197]	[8.8]	[181,252]	[△9.0]	[395,177]	[△10.2]					
三和シャッター工業	83,205	(3.3)	198,569	(6.0)	93,661	(12.6)	208,000	210,407	(6.0)	85,900	(△8.3)	191,300	(△9.1)					
その他国内子会社	15,019	(5.4)	35,388	(9.0)	18,774	(25.0)	43,502	51,180	(44.6)	23,900	(27.3)	52,700	(3.0)					
ODC(米国)	55,763	(4.8)	116,607	(3.4)	56,387	(1.1)	118,860	118,477	(1.6)	46,515	(△17.5)	98,752	(△16.6)					
ノボフェルム(欧州)	36,099	(19.0)	73,464	(13.1)	36,517	(1.2)	70,200	74,923	(2.0)	29,670	(△18.8)	63,595	(△15.1)					
アジア					2,624		7,001	6,421		3,168	(20.7)	7,367	(14.7)					
営業利益	9,741	5.3 (7.7)	31,593	7.7 (11.5)	11,064	5.6 (13.6)	34,000	34,217	7.8 (8.3)	5,100	2.9 (△53.9)	22,000	5.6 (△35.7)					
[前年為替適用]					[11,099]	[13.9]		[34,547]	[9.4]	[5,111]	[△53.8]	[22,155]	[△35.3]					
三和シャッター工業	5,435	6.5 (△3.2)	18,339	9.2 (7.2)	7,553	8.1 (39.0)	20,200	21,172	10.1 (15.4)	5,400	6.3 (△28.5)	17,000	8.9 (△19.7)					
その他国内子会社	18	0.1 (△90.6)	1,214	3.4 (4.6)	203	1.7 (1,007.0)	2,415	2,583	5.0 (112.8)	424	1.8 (108.8)	2,360	4.5 (△8.7)					
ODC(米国)	3,485	6.3 (12.5)	8,780	7.5 (0.0)	2,700	4.8 (△22.5)	9,345	9,033	7.6 (2.9)	140	0.3 (△94.8)	3,045	3.1 (△66.3)					
ノボフェルム(欧州)	1,324	3.7 (43.1)	3,834	5.2 (32.9)	1,349	3.7 (1.9)	3,600	3,692	4.9 (△3.7)	123	0.4 (△90.9)	1,702	2.7 (△53.9)					
アジア					△132	△5.1	269	△348	△5.4	11	0.3 (+)	60	0.8 (+)					
経常利益	9,248	5.0 (5.1)	30,437	7.4 (9.1)	10,786	5.4 (16.6)	33,000	33,469	7.6 (10.0)	4,600	2.6 (△57.4)	21,000	5.4 (△37.3)					
[前年為替適用]					[10,824]	[17.0]		[33,786]	[11.0]	[4,590]	[△57.4]	[21,119]	[△36.9]					
三和シャッター工業	5,573	6.7 (△2.3)	18,579	9.4 (7.5)	7,662	8.2 (37.5)	20,400	21,396	10.2 (15.2)	5,500	6.4 (△28.2)	17,200	9.0 (△19.6)					
その他国内子会社	61	0.4 (△72.2)	1,282	3.6 (5.2)	250	1.3 (308.9)	2,461	2,674	5.2 (108.6)	453	1.9 (80.9)	2,409	4.6 (△9.9)					
ODC(米国)	3,267	5.9 (11.3)	8,195	7.0 (△2.9)	2,335	4.7 (△28.5)	8,715	8,453	7.1 (3.1)	△252	△0.5 (-)	2,226	2.3 (△73.7)					
ノボフェルム(欧州)	1,249	3.5 (52.3)	3,675	5.0 (37.0)	1,302	3.6 (4.3)	3,480	3,574	4.8 (△2.7)	46	0.2 (△96.5)	1,552	2.4 (△56.6)					
アジア					△140	△5.4	228	△398	△6.2	△6	△0.2 (+)	22	0.3 (+)					
持分法適用会社投資損益	△352	(-)	△599	(-)	△38	(+)	△244	△148	(+)	△142	(-)	△225	(-)					
親会社株主に帰属する当期純利益	5,933	3.2 (3.6)	20,910	5.1 (14.4)	6,945	3.5 (17.1)	22,000	21,647	4.9 (3.5)	2,300	1.3 (△66.9)	12,500	3.2 (△42.3)					
[前年為替適用]					[6,966]	[17.4]		[21,857]	[4.5]	[2,286]	[△67.1]	[12,587]	[△41.9]					
三和シャッター工業	3,682	4.4 (△3.1)	12,790	6.4 (7.8)	5,095	5.4 (38.4)	14,000	14,614	6.9 (14.3)	3,700	4.3 (△27.4)	11,700	6.1 (△19.9)					
その他国内子会社	△9	△0.1 (-)	813	2.3 (3.9)	125	0.7 (+)	1,499	1,469	2.9 (80.7)	261	1.1 (108.0)	1,562	3.0 (6.3)					
ODC(米国)	2,331	4.2 (23.4)	4,626	4.0 (△8.9)	1,713	3.0 (△26.5)	6,615	6,234	5.3 (34.8)	△252	△0.5 (-)	1,680	1.7 (△73.1)					
ノボフェルム(欧州)	854	2.4 (9.3)	2,568	3.5 (23.2)	832	2.3 (△2.6)	2,400	2,269	3.0 (△11.6)	△57	△0.2 (-)	1,000	1.6 (△55.9)					
アジア					△140	△5.4	202	△412	△6.4	△13	△0.4 (+)	△7	△0.1 (+)					
持分法適用会社投資損益	△352	(-)	△599	(-)	△38	(+)	△244	△148	(+)	△142	(-)	△225	(-)					

<欧米現地通貨>

(千ドル、千ユーロ、%)

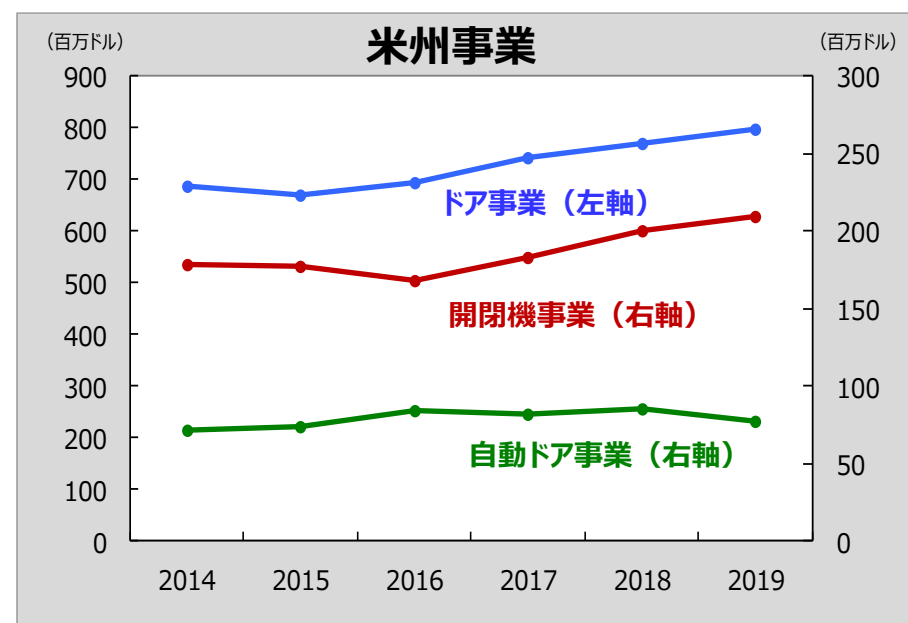
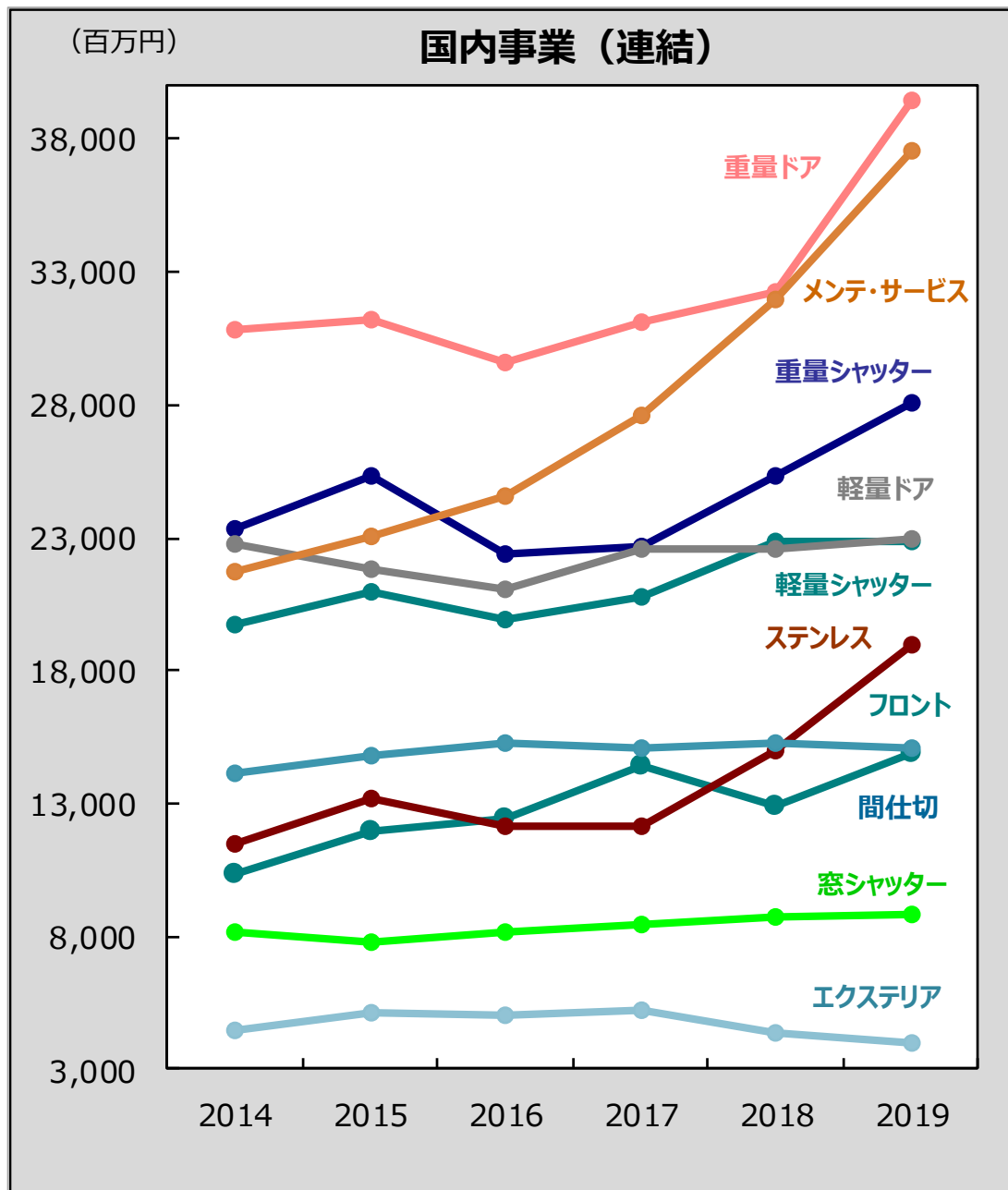
	2018年度						2019年度						2020年度(予想)					
	上期		通期		上期		通期		期初予想		上期		通期		上期		通期	
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率
売上	\$513,951	(8.3)	\$1,056,605	(4.9)	\$512,755	(△0.2)	\$1,132,000	\$1,084,559	(2.6)	\$443,000	(△13.6)	\$940,500	(△13.3)					
ノボフェルム(欧州)	€276,304	(11.3)	€565,069	(10.7)	€294,332	(6.5)	€585,000	€613,370	(8.5)	€258,000	(△12.3)	€553,000	(△9.8)					
営業利益	\$32,123	6.3 (16.3)	\$79,563	7.5 (1.6)	\$24,553	4.8 (△23.6)	\$89,000	\$82,693	7.6 (3.9)	\$1,340	0.3 (△94.5)	\$29,000	3.1 (△64.9)					
ノボフェルム(欧州)	€10,136	3.7 (33.9)	€29,495	5.2 (30.0)	€10,878	3.7 (7.3)	€30,000	€30,228	4.9 (2.5)	€1,070	0.4 (△90.2)	€14,800	2.7 (△51.0)					

- 2019年度、2020年度の [] 内は、前年為替換算レートを適用した数値を示す。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用。
- 三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しない。

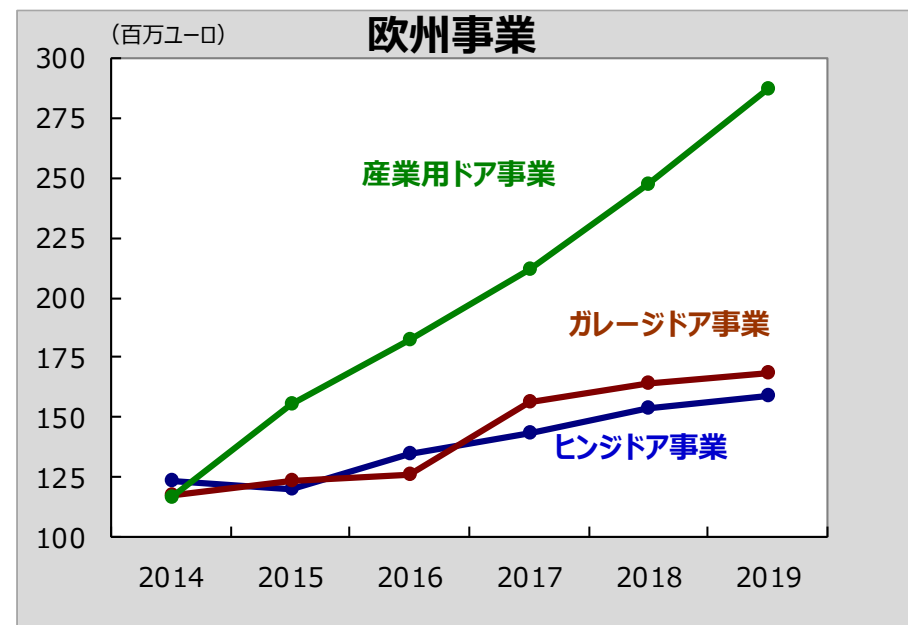
- 2019年度期初より「その他国内子会社」に4社、「アジア」に4社新たに連結。
国内…昭和建産、田島メタルワーク、林工業、三和電装エンジニアリング
アジア…宝産三和、安和金属工業、三和シャッター香港、ピナサンワ
- 2019年度3Qより「その他国内子会社」に鈴木シャッターを新たに連結。
- 2020年度より「アジア」に鈴木シャッター香港を新たに連結。

為替レート	2018年度		2019年度		2020年度(予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
USドル	108.50	110.36	109.97	109.24	105.00	105.00
ユーロ	130.65	130.01	124.07	122.15	115.00	115.00

参考資料2. 各地域（日・米・欧）の主要商品売上動向



従来の施工サービス部門・車両ドア部門はドア事業に含めて表示



現段階では製品別20年度予想は公表しない。

参考資料3. 日本：製品別受注高・売上高（三和シャッター工業）



現段階では製品別20年度予想は公表しない。

(百万円・%)

	2018年度										2019年度									
	上期			下期			通期				上期			下期			通期			
	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
軽量シャッター	(9.6)	(3.4)		(12.8)	(15.8)		(11.2)		(9.7)		(1.3)	(4.7)		(△5.0)	(△6.9)		(△1.9)		(△1.6)	
	11,256	10,456	12.6	11,718	12,319	10.7	22,974	11.6	22,775	11.5	11,400	10,949	11.7	11,127	11,473	9.8	22,527	11.0	22,422	10.7
重量シャッター	(3.8)	(2.7)		(12.6)	(19.6)		(8.1)		(12.4)		(8.5)	(15.8)		(10.5)	(△3.5)		(9.6)		(4.0)	
	11,902	9,756	11.7	12,314	15,414	13.4	24,217	12.3	25,170	12.7	12,918	11,300	12.1	13,611	14,875	12.7	26,530	13.0	26,175	12.4
O S D	(0.2)	(△5.2)		(4.8)	(11.3)		(2.5)		(3.8)		(8.4)	(9.6)		(4.2)	(△4.2)		(6.3)		(1.5)	
	2,419	2,069	2.5	2,486	2,912	2.5	4,906	2.5	4,981	2.5	2,623	2,268	2.4	2,591	2,789	2.4	5,214	2.6	5,057	2.4
シャッター関連商品	(19.4)	(13.5)		(27.9)	(12.8)		(23.8)		(13.1)		(7.5)	(24.2)		(△11.6)	(4.8)		(△2.7)		(13.0)	
	6,554	5,413	6.5	7,568	7,329	6.4	14,123	7.2	12,742	6.4	7,044	6,721	7.2	6,691	7,680	6.6	13,735	6.7	14,402	6.8
ビル・マンションドア	(△11.7)	(△0.2)		(4.4)	(3.9)		(△4.2)		(2.3)		(5.5)	(12.7)		(3.8)	(11.8)		(4.7)		(12.1)	
	25,156	20,861	25.1	26,262	33,511	29.0	51,418	26.0	54,372	27.4	26,551	23,507	25.1	27,264	37,455	32.1	53,816	26.4	60,963	29.0
住宅ドア	(△1.1)	(△3.5)		(△7.6)	(△7.9)		(△4.5)		(△5.8)		(△11.8)	(△7.9)		(△22.7)	(△23.1)		(△17.3)		(△15.7)	
	2,237	2,180	2.6	2,285	2,276	2.0	4,522	2.3	4,457	2.2	1,974	2,009	2.1	1,767	1,749	1.5	3,741	1.8	3,759	1.8
窓製品	(2.4)	(△0.5)		(6.0)	(5.6)		(4.3)		(2.6)		(5.6)	(9.0)		(△5.2)	(△4.9)		(0.0)		(1.7)	
	4,250	4,097	4.9	4,579	4,587	4.0	8,830	4.5	8,685	4.4	4,488	4,467	4.8	4,341	4,362	3.7	8,830	4.3	8,829	4.2
エクステリア製品	(△17.1)	(△12.0)		(△17.7)	(△19.3)		(△17.4)		(△15.8)		(△3.9)	(△7.8)		(△0.8)	(△8.5)		(△2.4)		(△8.2)	
	2,052	2,134	2.6	1,931	2,109	1.8	3,983	2.0	4,244	2.1	1,973	1,968	2.1	1,915	1,929	1.7	3,888	1.9	3,898	1.9
間仕切製品	(△3.3)	(△7.8)		(14.8)	(△7.7)		(4.9)		(△7.8)		(6.1)	(21.7)		(17.6)	(10.5)		(11.8)		(14.8)	
	6,641	4,616	5.5	6,470	7,514	6.5	13,112	6.6	12,130	6.1	7,044	5,619	6.0	7,611	8,303	7.1	14,656	7.2	13,923	6.6
ステンレス製品	(35.7)	(55.9)		(10.1)	(7.1)		(22.3)		(24.4)		(△3.0)	(11.6)		(1.6)	(31.3)		(△0.8)		(22.6)	
	4,990	3,904	4.7	4,468	4,888	4.2	9,459	4.8	8,792	4.4	4,842	4,359	4.7	4,538	6,417	5.5	9,381	4.6	10,777	5.1
フロント製品	(△3.8)	(16.5)		(△5.1)	(7.1)		(△4.4)		(11.1)		(△8.9)	(△30.4)		(25.3)	(△5.1)		(8.3)		(△16.5)	
	1,231	1,274	1.5	1,241	1,559	1.4	2,472	1.3	2,833	1.4	1,121	887	0.9	1,556	1,480	1.3	2,677	1.3	2,367	1.1
自動ドアエンジン	(△5.1)	(6.9)		(△7.2)	(△10.9)		(△6.1)		(△3.2)		(△0.4)	(△8.2)		(1.6)	(△0.8)		(0.6)		(△4.3)	
	1,298	1,243	1.5	1,284	1,365	1.2	2,582	1.3	2,608	1.3	1,292	1,141	1.2	1,304	1,354	1.2	2,597	1.3	2,496	1.2
メンテ・サービス	(12.4)	(10.8)		(15.7)	(19.4)		(14.2)		(15.6)		(11.5)	(14.9)		(2.7)	(2.1)		(6.8)		(7.6)	
	14,863	13,491	16.2	16,836	18,066	15.7	31,700	16.1	31,558	15.9	16,580	15,498	16.5	17,283	18,451	15.8	33,863	16.6	33,949	16.1
その他	(9.4)	(△25.6)		(△8.3)	(△12.6)		(0.8)		(△20.0)		(△39.5)	(73.7)		(13.2)	(△204.5)		(△16.3)		(△57.0)	
	1,781	1,704	2.0	1,403	1,510	1.3	3,185	1.6	3,214	1.6	1,077	2,961	3.2	1,588	△1,577	-1.4	2,666	1.3	1,383	0.7
合計	(1.7)	(3.3)		(9.2)	(7.9)		(5.4)		(6.0)		(4.4)	(12.6)		(2.3)	(1.2)		(3.4)		(6.0)	
	96,637	83,205	100.0	100,850	115,364	100.0	197,488	100.0	198,569	100.0	100,934	93,661	100.0	103,194	116,746	100.0	204,128	100.0	210,407	100.0
	金額			金額			通期増減額				金額			金額			通期増減額			
手持残高	110,182			95,868			△490				105,078			88,329			△7,539			

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料4. 米州：製品別売上高（ODC）



現段階では製品別20年度予想は公表しない。

《 ODC Group 業績 》

(千US\$・%)

		2018年度						2019年度					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
		売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	
製品別売上高	ドア	(7.9)		(0.2)		(3.8)		(0.9)		(6.0)		(3.5)	
		374,918	72.9	394,944	72.8	769,862	72.9	378,338	73.8	418,746	73.2	797,084	73.5
	開閉機	(9.5)		(9.5)		(9.5)		(0.7)		(7.9)		(4.5)	
		96,527	18.8	104,347	19.2	200,875	19.0	97,211	19.0	112,638	19.7	209,850	19.3
	自動ドア	(9.6)		(0.8)		(5.0)		(△12.5)		(△6.8)		(△9.6)	
		42,505	8.3	43,361	8.0	85,867	8.1	37,206	7.3	40,418	7.1	77,624	7.2
売上高		(8.3)		(1.9)		(4.9)		(△0.2)		(5.4)		(2.6)	
		513,951	100.0	542,654	100.0	1,056,605	100.0	512,755	100.0	571,804	100.0	1,084,559	100.0
営業利益		(16.3)		(△6.5)		(1.6)		(△23.6)		(22.6)		(3.9)	
		32,123	6.3	47,439	8.7	79,563	7.5	24,553	4.8	58,139	10.2	82,693	7.6
経常利益		(15.0)		(△10.2)		(△1.4)		(△29.5)		(27.2)		(4.2)	
		30,118	5.9	44,145	8.1	74,263	7.0	21,239	4.1	56,143	9.8	77,383	7.1
親会社株主に帰属する 当期純利益		(27.6)		(△28.2)		(△7.5)		(△27.5)		(103.1)		(36.2)	
		21,486	4.2	20,432	3.8	41,918	4.0	15,580	3.0	41,492	7.3	57,072	5.3

1. ()内は前年増減率を示す。

2. 2019年度より「施工サービス部門」と「車両ドア部門」を「ドア部門」に含めて表示。

参考資料5. 欧州：製品別売上高（NF）



《NF Group 業績》

現段階では製品別20年度予想は公表しない。

(千€・%)

		2018年度						2019年度					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
		売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	売上比	
製品別売上高	ヒンジドア	(7.7)		(8.5)		(8.1)		(3.9)		(2.0)		(2.9)	
		74,699	27.0	79,692	27.6	154,391	27.3	77,587	26.4	81,257	25.5	158,845	25.9
	ガレージドア	(5.4)		(3.9)		(4.7)		(3.2)		(2.0)		(2.6)	
		81,557	29.5	82,018	28.4	163,575	28.9	84,190	28.6	83,623	26.2	167,814	27.4
	産業用ドア	(18.4)		(15.4)		(16.8)		(10.4)		(21.3)		(16.0)	
		120,048	43.4	127,053	44.0	247,102	43.7	132,554	45.0	154,157	48.3	286,711	46.7
売上高		(11.3)		(10.0)		(10.7)		(6.5)		(10.5)		(8.5)	
		276,304	100.0	288,765	100.0	565,069	100.0	294,332	100.0	319,038	100.0	613,370	100.0
営業利益		(33.9)		(28.1)		(30.0)		(7.3)		(△0.0)		(2.5)	
		10,136	3.7	19,358	6.7	29,495	5.2	10,878	3.7	19,350	6.1	30,228	4.9
経常利益		(42.5)		(30.2)		(34.1)		(9.8)		(0.3)		(3.5)	
		9,560	3.5	18,707	6.5	28,268	5.0	10,497	3.6	18,767	5.9	29,264	4.8
親会社株主に帰属する 当期純利益		(2.2)		(32.3)		(20.5)		(2.5)		(△10.2)		(△6.0)	
		6,543	2.4	13,209	4.6	19,752	3.5	6,708	2.3	11,868	3.7	18,576	3.0

1. ()内は前年増減率を示す。

参考資料6. 外部環境



■ 建設環境

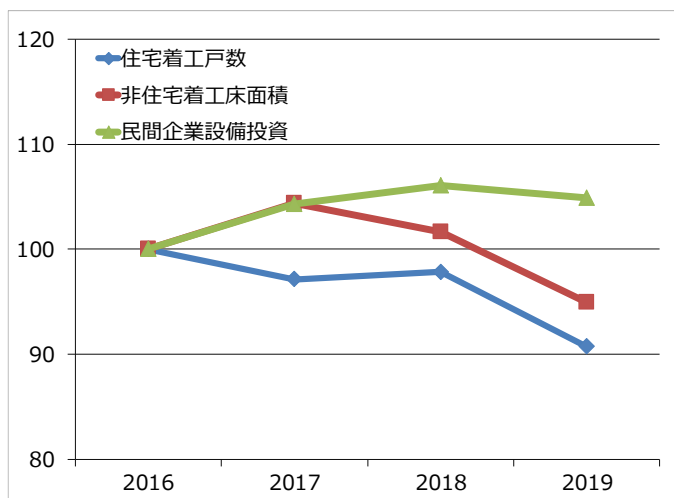
		2016		2017		2018		2019		
日本	住宅着工戸数	千戸	974	5.8%	946	-2.8%	953	0.7%	884	-7.3%
	非住宅着工床面積	千㎡	45,299	2.7%	47,293	4.4%	46,037	-2.7%	43,019	-6.6%
	民間企業設備投資	10億円	80,812	-0.4%	84,268	4.3%	85,740	1.7%	84,797	-1.1%
米国	住宅着工戸数	千戸	1,174	5.6%	1,203	2.5%	1,250	3.9%	1,290	3.2%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,450	3.8%	5,510	1.1%	5,340	-3.1%	5,340	0.0%
	設備投資	10億ドル	2,425	0.7%	2,531	4.4%	2,692	6.4%	2,748	2.1%
欧州	住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	403,096	4.3%	418,125	3.7%	428,705	2.5%	431,228	0.6%
	非住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	222,003	1.3%	226,757	2.1%	232,653	2.6%	235,536	1.2%
ドイツ	住宅建物投資	百万ユーロ	189,698	3.9%	195,015	2.8%	199,440	2.3%	201,171	0.9%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	87,752	0.3%	89,101	1.5%	89,954	1.0%	89,413	-0.6%

※出典：（日）国土交通省2020.04、内閣府2020.03、（米）商務省2020.05、National Association of Realtors2020.04、（欧）Euroconstruct2019.06

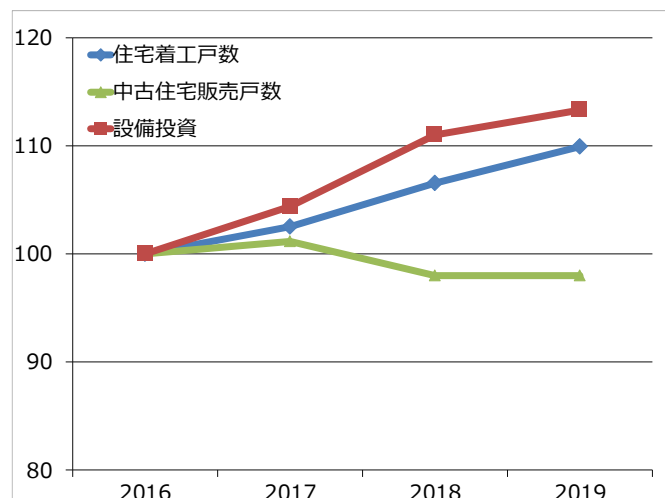
※日本は年度ベース（4-3月）、米欧は暦年ベース（1-12月）

■ 建設環境の推移（2016年=100としたときの指数）

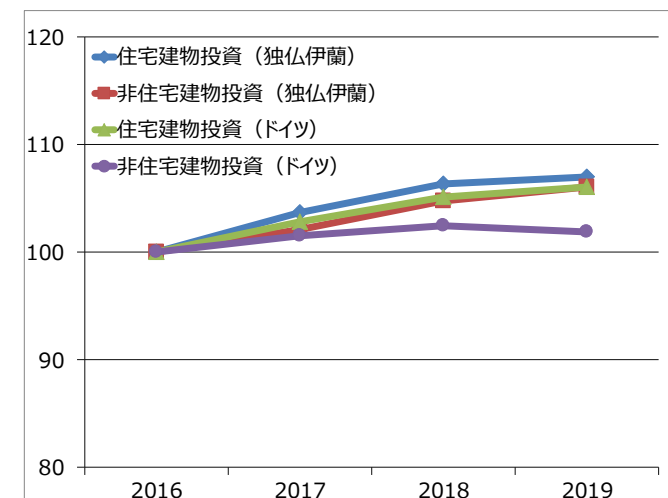
日本



米国



欧州



参考資料7. 主要経営指標



		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 予想
売上高	(百万円)	311,957	339,045	365,615	353,922	385,673	409,990	440,161	390,000
営業利益	(百万円)	20,649	26,334	26,870	26,440	28,322	31,593	34,218	22,000
親会社株主に帰属する純利益	(百万円)	10,161	12,857	14,627	17,070	18,280	20,910	21,647	12,500
売上高営業利益率	(%)	6.6%	7.8%	7.3%	7.5%	7.3%	7.7%	7.8%	5.6%
ROE：純利益/純資産（期首・期末平均）	(%)	9.6%	10.7%	11.4%	12.7%	12.7%	13.5%	13.3%	7.5%
自己資本比率（期末）	(%)	40.4%	39.1%	41.7%	43.0%	45.2%	47.4%	46.3%	46.9%
期末純資産	(百万円)	113,956	126,748	130,334	139,906	151,121	161,604	165,634	170,735
期末総資産	(百万円)	281,917	323,327	310,269	323,393	331,686	338,432	354,023	360,000
期末有利子負債	(百万円)	69,153	88,484	70,798	74,739	65,945	61,217	63,730	60,760
DELシオ：有利子負債/純資産	(倍)	0.61	0.70	0.54	0.53	0.44	0.38	0.38	0.36
SVA(Sanwa Value Added)	(百万円)	5,410	7,770	8,290	8,057	9,026	12,693	13,974	5,437
EPS：1株純利益	(円)	42.4	54.1	63.1	74.6	80.9	92.9	97.1	56.6
発行済株式数(期中平均)	(千株)	239,768	237,694	231,923	228,782	225,761	224,979	222,852	220,845

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。

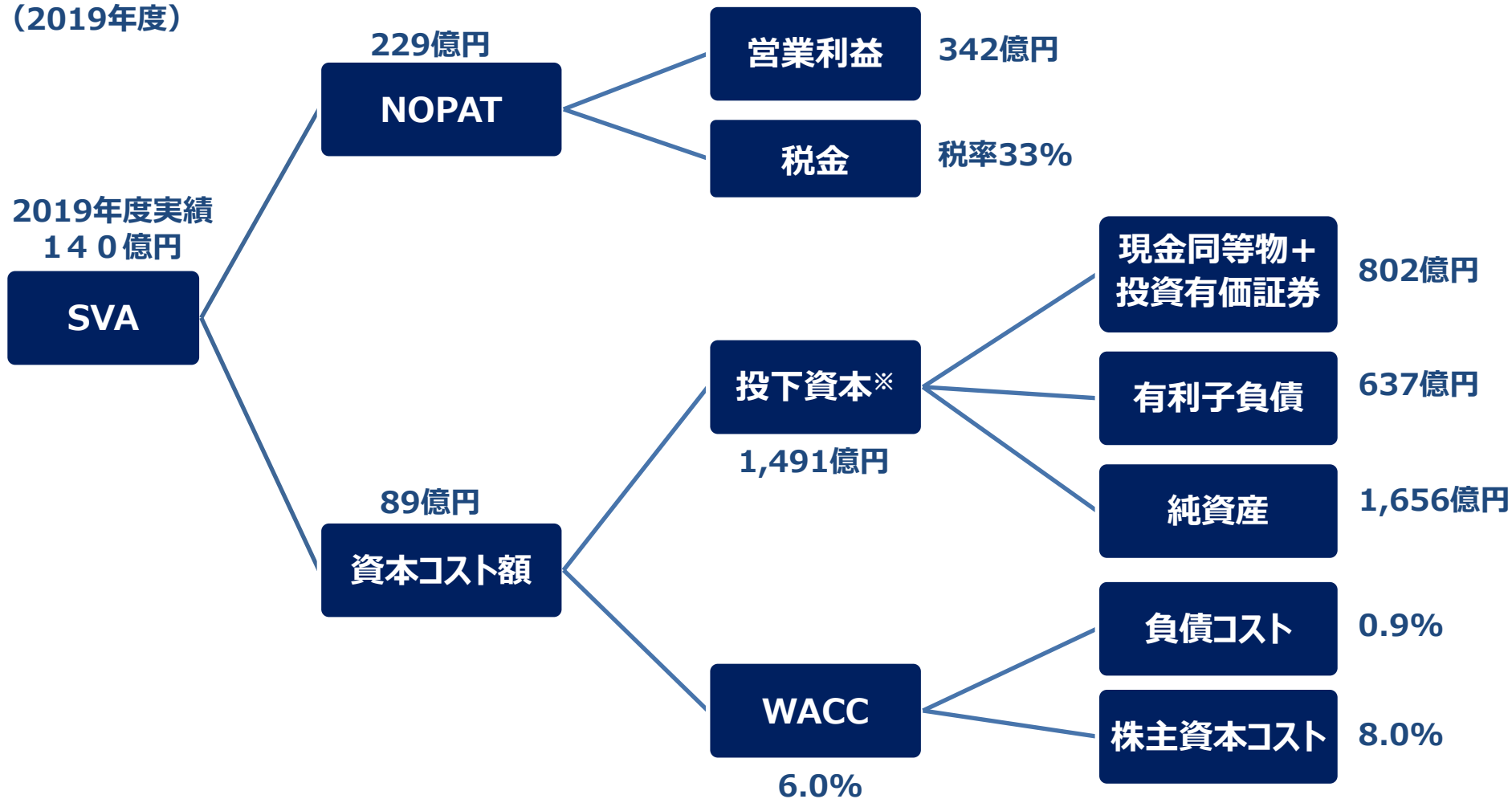
参考資料8. SVAツリー



SVA

SVAは、当社独自の経済的付加価値指標として2001年より採用
株主・債権者の期待収益を意識した事業運営を行うことを目標

数値は連結実績値
(2019年度)



※投下資本 = 運転資本 + 固定資産
= 純資産 + 有利子負債 - (現金同等物 + 投資有価証券)

参考資料9. 設備投資額と減価償却費



《連結の設備投資額と減価償却費》

(百万円)

	2018年度		2019年度	
	上期	通期	上期	通期
設備投資額	6,818	12,367	3,550	8,419
三和ホールディングス	117	222	119	296
三和シャッター工業	1,086	2,003	828	1,805
国内連結子会社	227	360	142	379
為替レート ()内は千ドル表示	108.50 (\$19,573)	110.36 (\$36,048)	109.97 (\$15,762)	109.24 (\$29,633)
ODCグループ	2,123	3,978	1,733	3,237
為替レート ()内は千ユーロ表示	130.65 (€24,976)	130.01 (€44,642)	124.07 (€5,790)	122.15 (€21,933)
Novofermグループ	3,263	5,803	718	2,679
アジア連結子会社	-	-	8	20
減価償却費	4,637	9,498	5,126	11,562
三和ホールディングス	264	532	262	534
三和シャッター工業	912	1,981	880	1,937
国内連結子会社	159	333	185	429
()内は千ドル表示	(\$14,094)	(\$29,019)	(\$15,482)	(\$31,697)
ODCグループ	1,529	3,202	1,702	3,462
()内は千ユーロ表示	(€7,576)	(€15,371)	(€10,783)	(€23,358)
Novofermグループ	989	1,998	1,337	2,853
アジア連結子会社	-	-	39	84
のれん償却額	781	1,449	717	2,260

現段階では20年度設備投資予想は公表しない。

参考資料10. トピックス



2019年9月
株式会社LIXIL鈴木シャッターの
株式取得完了

SUZUKI



2019年11月
耐火パネル「マジカルタイカ プラス」
を発売

省施工を
実現!



施工支援ロボット
(ジラフ)

**三和
シャッター**

2020年3月
マンションドア宅配ロッカー付き仕様
「トレドル るす楽」を発売

再配達問題
を解決!



**三和
シャッター**

2020年4月
高強度シャッター「耐風ガード」を発売

耐風対策に
有効!



**三和
シャッター**



2019年5月
Robust AB(スウェーデン)
の株式取得

novoferm



2019年5月
“National Ribbon
Distributor Meeting”を開催

The Genuine. The Original.
OVERALL DOOR



2019年11月
スマートガレージ開閉機に
対応するアプリが拡大

novoferm



2020年2月
建築家隈研吾氏監修の
日本初チタン製ルーバー発売

**Tajima
ARCHITECTURAL METALS**

